

# 海草藻場の生育範囲拡大について

令和7年5月

沖縄防衛局

# 豊原海域における海草藻場の生育範囲拡大について

- 本事業の環境保全措置「海草藻場の生育範囲拡大」として、豊原海域において、令和4年度、令和5年度及び令和6年度に各2,000株のリュウキュウスガモの種苗を植え付け、植付け後モニタリングを実施している。
- 本委員会では、令和4年度及び令和5年度の植付け地点における、令和6年度冬季モニタリングの結果について報告する。

## 豊原海域における海草藻場の生育範囲拡大の実施状況

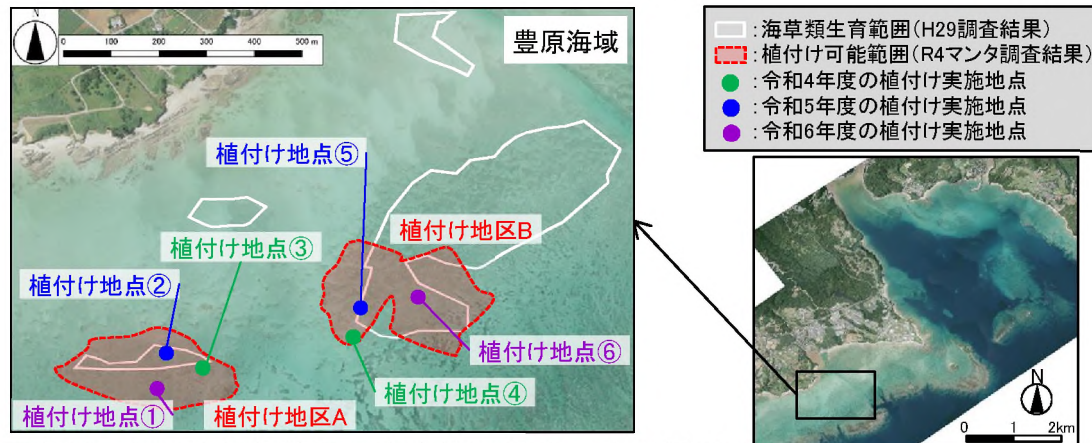
年月		令和4年度												令和5年度												令和6年度											
		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3								
季節		冬季			春季			夏季			秋季			冬季			春季			夏季			秋季			冬季			春季								
海草藻場の生育範囲拡大の実施	植付け地点③	50区画 1,000株	●						●	●	●				●					●									●								
	植付け地点④	50区画 1,000株	●						●	●	●				●					●									●								
	植付け地点②	50区画 1,000株													●					●									●								
	植付け地点⑤	50区画 1,000株													●					●									●								
	植付け地点①	50区画 1,000株																											●								
	植付け地点⑥	50区画 1,000株																											●								

年月		令和7年度												令和8年度														
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
季節		春季			夏季			秋季			冬季			春季			夏季			秋季			冬季			春季		
海草藻場の生育範囲拡大の実施	植付け地点③	50区画 1,000株				○						○																
	植付け地点④	50区画 1,000株				○						○																
	植付け地点②	50区画 1,000株				○						○																○
	植付け地点⑤	50区画 1,000株				○						○																○
	植付け地点①	50区画 1,000株				○						○																○
	植付け地点⑥	50区画 1,000株				○						○																○
※2	100区画 2,000株										○															○		

← 実施済み 予定 → ●: 植付け(実施済み) ○: 植付け(実施予定) ●: モニタリング(実施済み) ○: モニタリング(実施予定)<sup>※3</sup> □: 今回報告事項

- ※1 荒天により一部は2月に実施した。
- ※2 植付け地点は、各年度の現地踏査の結果を踏まえて決定する。
- ※3 モニタリング期間は、植付け後3年を目安とし、それ以降は植付け3年後時点の状況により検討する(第40回委員会にて提示)。

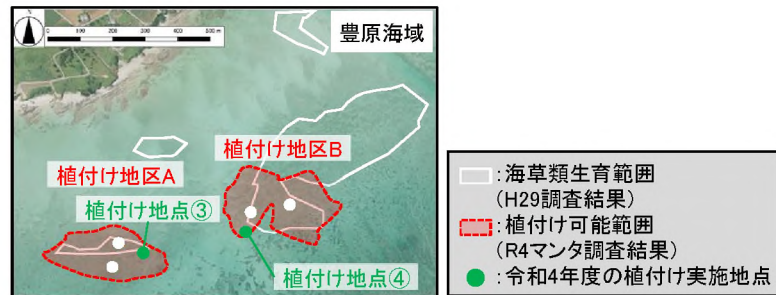


豊原海域における海草藻場の生育範囲拡大の実施場所

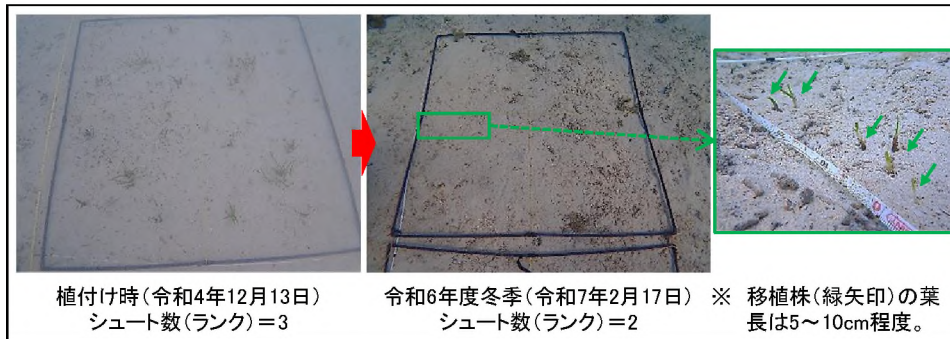
# 植付け後モニタリングの結果(1/2)

## 1. 令和4年度の植付け地点におけるモニタリング結果

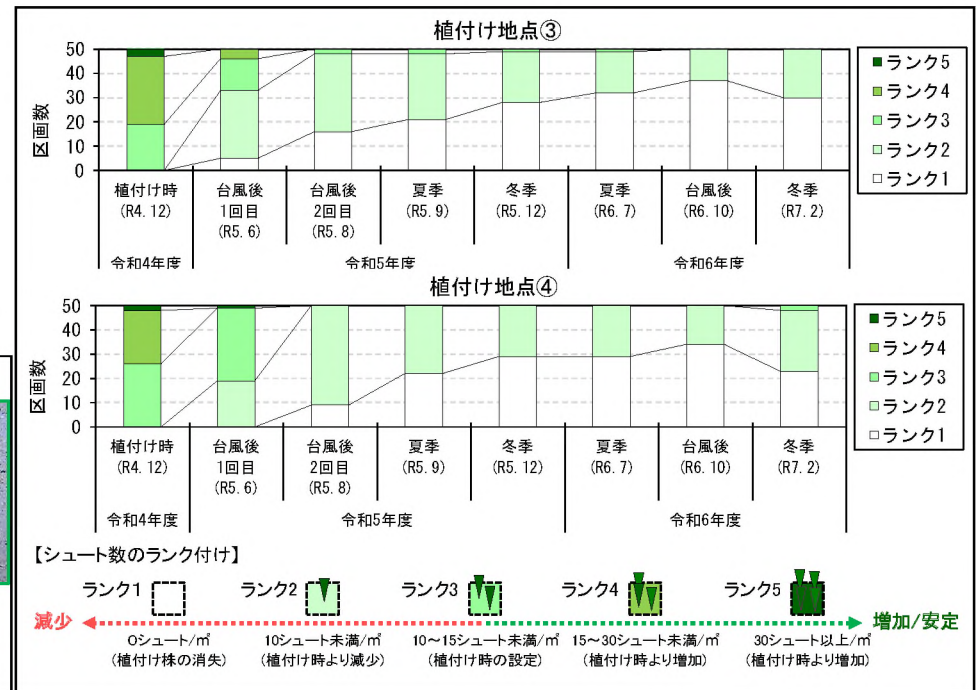
- 令和4年度は、豊原海域の植付け地点③、④において、令和4年12月にリュウキュウスガモの種苗を各50区画(1,000株)、合計100区画(2,000株)に植え付けた(第42回委員会にて提示)。これらの植付け地点において、令和7年2月に令和6年度冬季モニタリングを実施した。モニタリングにおけるシュート数(ランク)の推移を下図に示す。
- 令和6年度冬季のシュート数は、同年度台風後モニタリング時と比較して、植付け地点③、④ともにランク2の区画数が増加し、植付け地点④ではランク3の区画数も増加した。両地点ともに、砂層厚及び底質概観に変化はみられなかった(詳細データは、巻末資料1に収録)。なお、両地点ともに、植付け直後にアオウミガメによる被食が確認されたが、令和6年度夏季時点で、被食から回復していることが確認された(第52回委員会にて提示)。また、植付け直後の被食以降、継続的または著しい被食は確認されていない。
- 植付け地点③、④のシュート数は、植付け後減少し続けていたが、令和6年度冬季に増加に転じた。ランク2以上の区画が、植付け地点③では20区画、植付け地点④では27区画残っていることに加え、移植株の葉長が5~10cm程度に維持されていることから、今後の更なる回復が期待される。今後もモニタリングを継続し、シュート数の推移を確認していく。



令和4年度の植付け実施地点



植付け地点③ No.39区画の状況

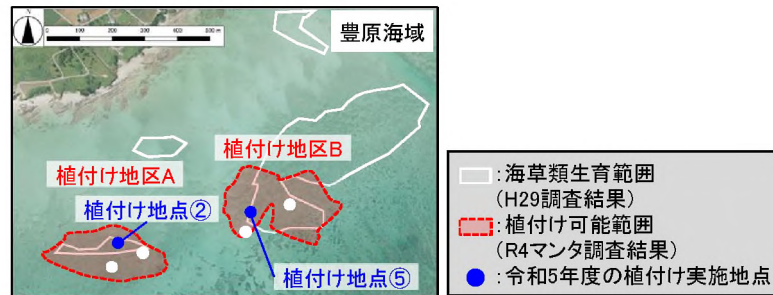


令和4年度植付け地点におけるシュート数(ランク)の推移

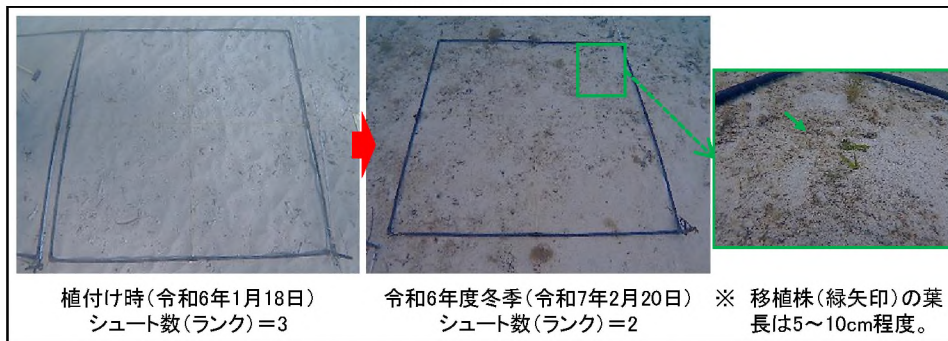
## 植付け後モニタリングの結果(2/2)

### 2. 令和5年度の植付け地点におけるモニタリング結果

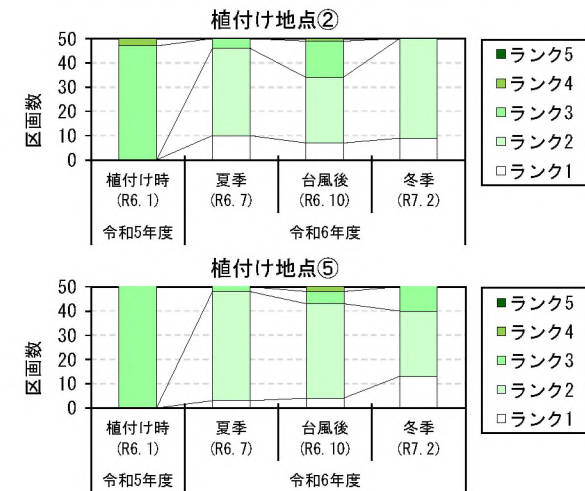
- 令和5年度は、豊原海域の植付け地点②、⑤において、令和6年1月にリュウキュウスガモの種苗を各50区画(1,000株)、合計100区画(2,000株)に植え付けた(第47回委員会にて提示)。これらの植付け地点において、令和7年2月に令和6年度冬季モニタリングを実施した。モニタリングにおけるシュート数(ランク)の推移を下図に示す。
- 令和6年度冬季のシュート数は、同年度台風後モニタリング時と比較して、植付け地点②ではランク3、4の区画数が減少、植付け地点⑤ではランク2の区画数が減少し、ランク3の区画数が増加した。両地点ともに、砂層厚及び底質概観に変化はみられなかった(詳細データは、巻末資料2に収録)。なお、両地点ともに、植付け直後にアオウミガメによる被食が確認されたが、令和6年度冬季時点で、残存した移植株の葉長が5~10cmまで伸長しており、被食から回復したことを確認している。また、植付け直後の被食以降、継続的または著しい被食は確認されていない。
- 植付け地点②、⑤のシュート数は、植付け時より減少しているが、令和6年度冬季時点で、ランク2以上の区画が植付け地点②では41区画、植付け地点⑤では37区画残っていることに加え、移植株の葉長が5~10cm程度に維持されており、これまでの現地実証試験において、植付けから2年目以降に地下茎が側方へ伸長する状況が確認されていることから、今後の回復が期待される。今後もモニタリングを継続し、シュート数の推移を確認していく。



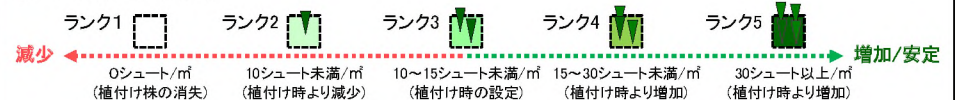
令和5年度の植付け実施地点



植付け地点⑤ No.80区画の状況



【シュート数のランク付け】



令和5年度植付け地点におけるシュート数(ランク)の推移